

法人名	(福)飛騨慈光会
施設・事業所名	障害者支援施設 吉城山ゆり園
介護ロボット等の種別	見守り・コミュニケーション
介護ロボット等の製品名	超音波・赤外線コール
介護ロボット等の使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	無断外出の可能性がある利用者の居室があるユニットの廊下、窓下等に常時設置し、夜間は常時、日中は対象者に不安定な言動等がみられる場合に支援員が受信機を携帯している。
介護ロボット等の導入効果 (導入による業務改善状況等)	これまでは対象者の行動把握(特に夜間)ができていなかったが、センサー反応があることで即時の目視確認と、声掛けを行う支援がほぼ確実にできるようになり、無断外出の未然防止と職員の心理的負担軽減につながっている。
介護ロボット等の導入の課題	ユニットが違う場合、支援員室で受信するには中継器が必要であり、更に離れた場所への移動時は使用できない為、機器に頼るだけではなく、支援方法や職員のオペレーションによる防止策も並行して行う必要がある。
写真	